

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	2782
部名	経済部	課名	勤労福祉課	課長名	湯舟博光
事務事業名	雇用促進対策事業				
予算上の事務事業名	雇用促進対策経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23240		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第2節 安心して暮らせるまちづくり				事業開始年度
施策名	第4施策 勤労者対策の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
職業安定法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 窓口・相談 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
相模原公共職業安定所などの関係機関と協力して相談事業、啓発事業及び情報収集を求職者の雇用の促進及び安定を図るために行う。			求職者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> パート労働相談を相模原職業安定所と協力し実施 相談件数2,831件 相模原パートバンクで通年(月～金の9:30～17:30)実施 高齢者職業相談を相模原職業安定所と協力し実施 相談件数5,309件 相模原市高齢者職業相談室で通年(月～金の8:30～17:00)実施 障害者雇用促進街頭キャンペーンを障害者団体及び関連団体と共同で実施 平成16年9月22日 相模大野駅周辺 参加者 1,800人 雇用促進対策基本調査を従業員5人以上の事業所(対象事業所数1,610)の協力のもと実施 調査基準日(平成16年7月1日) 有効回答数652事業所 有効回答率40.5% 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
パート労働相談、高齢者職業相談については、他自治体も同様な目的で実施している。 障害者雇用促進街頭キャンペーンは神奈川県で実施している。 雇用促進対策基本調査と類似した調査を鎌倉市、藤沢市等で実施している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	4,552	4,439	4,899	4,370	4,370
一般財源	4,543	4,439	4,880	4,350	4,350
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	9	0	19	20	20
人件費の合計	2,167	2,088	1,567	1,172	1,172
事業コスト合計(a)	6,719	6,527	6,466	5,542	5,542
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	障害者雇用促進街頭キャンペーン			対象名称(単位)	参加者(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	680	625	664	544	544
対象数	2,900	2,000	1,800	1,700	1,700
単位あたり経費(円)	234	313	369	320	320
前年度比		1.33	1.18	0.87	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加者数 (人)		指標式と指標の説明	参加者数 (人)		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	2,900.0	2,000.0	1,800.0			
目標	2,900.0	2,000.0	1,800.0	1,700.0	1,700.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	就職者数 (人)		指標式と指標の説明	就職者数 (人)		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	0.0	0.0	0.0			
目標	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
目標達成度	0.0	0.0	0.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
C	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 障害者の雇用促進についての働きかけを事業所へ直接的に働きかけることにより、理解を深める必要がある。			14 課題として認識されたこと 現状の施策では事業所への働きかけが不十分である。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。			